

市民公開学習会

福島原発事故『東電会見』に通い続ける寄席芸人

情報開示と監視の日

屋内も高い追加被ばく線量

公害環境対策部は10月11日

島に住み続ける人は放射線防護の用意を整えるな

ど、せめて人々の全ての決

電記者会見』に1500回以上通う寄席芸人の取材報

告ハミガキするように社

会のことを考え方」を

テーマに市民公開学習会を開催。芸人で記者のおじ

りマコ氏・ケン氏が講演し、

54名(うちWEB参加36名)

が参加した。

「現状が世の中に伝わればもう少しマシになる」と

マコ氏は切り出し、人々の

思考・議論の基礎となる情

報開示の重要性を強調。福

一点張りの主張を繰り返

し、汚染を心配する方々を

断り対して国は十分な用意

告ハミガキするように社

会のことを考え方」を

テーマに市民公開学習会を開催。芸人で記者のおじ

りマコ氏・ケン氏が講演し、

54名(うちWEB参加36名)

が参加した。

「現状が世の中に伝わればもう少しマシになる」と

マコ氏は切り出し、人々の

思考・議論の基礎となる情

報開示の重要性を強調。福

が一生背負つていかなければならぬ十字架だと思つています」と明かしたとし、

東京駅から新幹線等で脱出する人波を多数のテレビ局が撮っていたが、放映はしなかったのだとした。

事故後の放射線量数値が明らかでなかつた頃、いち早く異変に気付いたのは福

島の医師たちだったと紹介。ある整形外科医は線量計の個人用バッジとコントロールバッジが非常に高い値だと気づき、放射線測定会社へ照会。「事故」に伴う「自然放射線量」の増加

横浜支部研究会

診断困難な化学物質過敏症 QEESI問診が診断の鍵



講師の坂部氏

横浜支部は11月10日、東海大学名誉教授の坂部貢氏を講師に招き、「化学物質過敏症・香害の理解と診療のヒント／病態・診断・社会的背景」をテーマに研究会を開催。協会会議室・WEBあわせて67名が参加した。

氏は化学物質過敏症について、脳の認知や記憶、マイクロカプセル(イソシアネート類)へのアレルギー、精神疾患との合併など、様々な要因が重なり診断が困難だと指摘。また、多剤薬剤過敏症(アレルギー免疫機序)と混同するケースが臨床現場で往々に見られるが、化学物質過敏症は中枢性感作であり、明確に違うものだと強調した。

化学物質過敏を主訴とする多くの疾患カテゴリの集まりだと考えることが臨床的に重要だとした。その上で、近年では初診時のQEESIによる問診が診断の鍵だと説いた。

活動報告

quick reports

主張

ゆく年くる年

他方で「保険医の生活

と権利を守り、国民医療

の向上をめざす」ための

周知した。

大な功績を残された小笠

原敏夫先生、富川康一先

生、小泉精策先生が相次

いで他界された年でもあ

るべきでした。厳しい状況にも弱

農家の方々は自分たちの

農民連は農水省へ交渉を続

けており、医療法人立と

を示した。それらの無形

見直し等の基本方針が了

た。厳しい状況にも弱

音を吐かず、情熱を持

て力を尽くすこと。人を

大切にし、長きにわたり

見直し等の基本方針が了

た。厳しい状況にも弱

影に日向に人を支えるこ

と。先達の志を胸に刻み、

心して活動を続けていき

た。

このように、『診療

療報酬請求の根拠と

個別相談にも適宜対応して

111)。

なるカルテ記載があるか等

いる。また、個別指導の実

績通知は実施の1ヶ月前

に届く。カルテ記載の疑問や、

記載が重要なのは言うま

で、診療報酬点数表に

お持ちの先生はぜひ早

くごくとも肝要だ。協

(医科・歯科保険診療対策

部・TEL 045-313-32

5方円)となつてお

り、再個別指導では、主にカル

テとレセプトを突き合わ

会では、個別指導に関する

個別相談にも適宜対応して

<p